

No.	25	分類	3-(2)-イ	資料名	住みよいまちづくり	学年	全学年	領域	総合的な学習の時間
-----	----	----	---------	-----	-----------	----	-----	----	-----------

1 ねらい

- 自分たちの町の物理的、心理的な障壁に気づき、改善方法を考え、誰もが暮らしやすい社会をつくっていかうとする態度を身につける。

2 活用上の留意点

- 様々な障害や障壁を取り除くことは、社会的弱者だけではなく、すべての人にとって住みやすい社会をつくることになることを押さえる。
- 体験型学習が体験だけで終わらないように、振り返り、一般化することを行いたい。
- 調査にあたっては、関係機関と十分に連携を図り、安全面にも十分配慮する。

3 掲載資料の趣旨

- バリアフリーやユニバーサルデザインの視点で、自分の住む町を見つめようとしている。1950年代、デンマークで「障害者の人権を守るためには、健常者と同じ生活をするのが望ましい。」というノーマライゼーションの考え方が生まれた。バリアフリー（障害者が生活をしていくうえで、障害（バリア）となるものを取り除くこと。）もユニバーサルデザイン（だれにでも公平・自由で、無理なく、安全に使用できるデザイン）も広くは、このノーマライゼーションに基づく取組である。

4 展開例

【導入】 バリアフリーやユニバーサルデザインについて調べましょう。

<ねらい>
バリアフリーやユニバーサルデザインについて調べ、その工夫や意味に気づく。
<活動>
・バリアフリーやユニバーサルデザインについて具体例を紹介し合う。

【研究課題・活動課題の例】

- ・公共施設等の工夫について調べる。
スロープ、エレベータのボタン、多目的トイレ など
- ・製品等の工夫について調べる。
文房具、食器、シャンプーのボトル など
字幕放送、手話番組、点字の表示 など

【展開1】 様々な立場の人への必要な支援を考えましょう。

<ねらい>
様々な立場の人への必要な支援を考慮することによって、共に支え合うための実践方法を知る。
<活動>
・様々な立場の人の生活環境を知るための体験的な学習を行う。

【研究課題・活動課題の例】

- ・車いすやアイマスクを用いた体験、妊婦や高齢者のシミュレーション体験を通して、様々な立場を経験してみよう。
- ・様々な立場の人への支援について、体験をもとに話し合おう。
(小さい子どもや外国人などの支援についても考えてみよう。)
- ・災害時に障害者や高齢者とともに避難する方法を研究しよう。

【展開2】 自分の町や身の周りの場所について調査してみましょう。

<ねらい>
社会的弱者の視点で施設や日用品等を点検し、課題解決の方法を考える。
<活動>
・体験して感じたことを思い出しながら、自分たちの学校や地域の様子について観察をし、改善点を考える。

【研究課題・活動課題の例】

- ・日常生活で不便なところや使いにくいところはないか調べてみよう。
学校の中、住んでいる町、いつも使っている道具 など
- ・それらの課題について、解決の方法を考えてみよう。